

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成29年7月10日

都道府県知事
(市長)

殿



提出者

住所 大分県豊後高田市松行292-1

氏名 矢野 康紀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	矢野 牧場
事業場の所在地	大分県 豊後高田市松行
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	肉用牛 590 頭
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・動物のふん尿 ① 処理業者に委託して推肥として再資源化 ・動物の死体 ① 処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・廃棄物の実務 担当者
- ・廃棄物処理計画の作成
- ・委託契約の締結事務
- ・行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成28年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	3285 t	0.4 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	3285 t	0.4 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	3285 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	3285 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組) ・動物のふん尿は再生利用業者へ ・全て処理委託し堆肥化している。 ・動物の死体は化製場に委託し処理している		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 動物の死体
	全処理委託量	3285 t 0.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	3285 t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・動物の死体は化製場へ委託し 処理している ・処理を委託する場合は今後も 再生利用業者へ委託する 		
※事務処理欄		